



左上/MR-01シリーズ ランボルギーニ イオタ SVR 価格15540円。左中2台/MR-01シリーズ ロータスヨーロッパスペシャル 価格15540円。  
左下/MR-02シリーズ メルセデス・ベンツSLRマクラーレン 価格16590円。右2台/MR-02シリーズ ランボルギーニ ディアブロVT 価格16590円。



ミニッツレーサーMR-01シリーズでは幻の名車が復活。ランボルギーニ イオタ SVRレディセット 価格15540円(電池別売)。撮影協力/hhstyle.com原宿本店☎03-3400-3434。ヴァイトラ・デザイン・ミュージアム ミニチュアコレクション「Hill House 1」価格18270円。

現在、ミニッツレディセットを購入すると、抽選でミニッツ用の限定ボディが当たる特別キャンペーンを2005年1月31日まで実施中! キャンペーンの詳細については、下記ホームページまで。またはキャンペーン事務局までお問い合わせ下さい。◎京商「ミニッツを2倍楽しもう! キャンペーン」事務局☎03-5282-1199

### 大人のR/Cカー講座 vol.5

## 本物感あふれるミニッツはインテリアとしても映える。

text: Takashi Koga/Jun e Co.  
photographs: Takashi Shimizu  
styling: Junichi Nakase/shadow

ミニッツは、片手に乗るほど小さなR/Cカー。しかし「オモチャ」という短絡的なひとりで片付けてしまうには、もったいない。一般的にオモチャといえは子供向け。だが、ミニッツは大人をも満足させてくれる。ミニッツはR/Cカーでありながら、模型のような本物感を有している。ボディの滑らかなプレスライン、くつきり浮かび上がるエッジ部分、ホイールの形状や細かいエンブレムに至るまで、実車ソックリ。ミニッツはオモチャに違いないのだが、実車を忠実に再現しようというディテールにこだわった作り込みが随所に見受けられる。

オモチャをオモチャたらしめるものは、本物感の欠如にある。顕著なのが、デフォルメされたカタチ。その点、ミニッツはオモチャというより、趣味の部類に入る「模型」と呼んだほうがイイのかもしれない。もちろん、子供だって本物感たっぷりのミニッツに惚れ込む。オモチャなのに子供だけでなく、大人も一緒に楽しめる。それがミニッツだ。模型のような美しさをもつミニッツなら、リビングルームにオブジェとして飾っても何ら違和感がない。違和感がないばかりか、インテリアの一部として見事なまでにフィットする。ソファに座りながら眺めるのもよし、リビングルームを走らせるもよし。その気になれば、子供や友人と即席R/Cカーレースだってできる。楽しみ方はオーナー次第。憧れのクルマをコレクションするのもしイイだろうし、今乗っている愛車をミニッツで手に入れるのも楽しいだろう。1台持てば、もっと欲しくなる。ミニッツが持つ不思議な魅力は、子供の頃にミニカー集めに熱中した思いを呼び起こす。あの頃の、純粋な気持ちも。